

要介護者は超高齢者

三郷の小さなつどい 5/17(土) 13:30～

岩野木集会場 参加者17名

大場先生から、認知症の男性が電車事故で死亡し、要介護1の妻に損害賠償が要求されたことについて、話されました。これでは認知症の人は閉じ込めておけということで、納得できません。

Oさんは83歳の妻が、食事の献立を考えられず、代わりにやると、意見を言う。否定してはいけないだろうかと言言があり、Tさんから、「次の日には忘れるのだから、“そうだね”と言って上げたほうがよい」と、アドバイスがありました。

Sさんは90歳の父が長崎に帰ると言って徘徊が始まり、一度は午前2時ごろまで歩いたこともあり、ミニパトが来たら、「長崎まで送ってくれ」と言ったりしました。

SIさんは89歳の母が「死にたい」と言うのですが、他の方もそうでしょうかと質問がありました。何人かの人が「よく言います」と話されました。大場先生からは「認知症の始めは、うつと間違えられる。認知症の対処をすること、介護施設も利用することが大切」と話されました。